

Usage Guidelines

Version 2.1.0

【別冊 C】 Chem eStandards 標準の項目使用方法

石油化学工業協会

情報通信委員会・CEDI-WG

ここでは、UG 本文の「4.3 受発注の業務パターンごとの BuyerSequenceNumber と SellerSequenceNumber 及び ActionRequest、LineStatus の使用方法について」～「4.5 一注文複数明細運用時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について」に関して、Chem eStandards 標準で例示されている項目の使い方を示す。

これは、UG では、日本国内の業務を想定した場合、Chem eStandards 標準に従うと、業務面・システム面において処理が複雑になることが予想されるため、国内では Chem eStandards 標準を一部省略する形式を推奨しているが、Chem eStandards 標準ではどのように例示されているかを示すため、別冊としてまとめたものである。

【内 容】

- 1.1 受発注の業務パターンごとの BuyerSequenceNumber と SellerSequenceNumber 及び ActionRequest、LineStatus の使用方法について
- 1.2 分納受注時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について
- 1.3 一注文複数明細運用時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について

1.1 受発注の業務パターンごとの BuyerSequenceNumber と SellerSequenceNumber 及び ActionRequest、LineStatus の使用方法について

受発注の業務パターンごとの BuyerSequenceNumber と SellerSequenceNumber 及び ActionRequest、LineStatus の使用方法を、下記の4つの観点からパターン分けし、代表的な業務パターンについて例示した。

- 1) 変更・削除の主体は Seller か Buyer か
- 2) 変更・削除の内容は何か
- 3) 変更・削除のタイミングは OrderResponse 交換後か交換前か
- 4) 相手の提示内容を承諾するか否か

尚、代表的な業務パターンとは、以下の通りである。

また、以下で、BSN とは BuyerSequenceNumber、SSN とは SellerSequenceNumber のことである。

代表的な業務パターン

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
1	———	なし	———	Seller が注文内容を承諾
2	———	なし	———	Seller が保留を経て注文内容を承諾
3	Seller	削除	OrderResponse 交換前	Seller が注文内容を拒否
4	Seller	変更	OrderResponse 交換後	Buyer が受注の変更内容を承諾
5	Seller	変更	OrderResponse 交換後	Buyer が受注の変更内容を拒否
6	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を承諾
7	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を拒否
8	Seller	変更	OrderResponse 交換前	Buyer が受注の変更内容を承諾
9	Buyer	変更	OrderResponse 交換前	Seller が注文の変更内容を承諾

各パターンのBSNとSSN及びActionRequest及びLineStatusについて

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
1	————	なし	————	Seller が注文内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
2	————	なし	————	Seller が保留を経て注文内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0		100	10/24	Pending
③						OrderResponse ←	10001	0	1	20001	100	10/24	

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
3	Seller	削除	OrderResponse 交換前	Seller が注文内容を拒否

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
Seller から Buyer へ、注文を受け付けられないことをオフラインで連絡													
②						OrderResponse ←	10001	0	0		100	10/24	Deleted
③	10001	1	100	10/24	Deleted	OrderChange →							
④						OrderResponse ←	10001	1	1		100	10/24	Deleted

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
4	Seller	変更	OrderResponse 交換後	Buyer が受注の変更内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	
Seller から Buyer へ、受注内容が変更になることをオフラインで連絡													
③						OrderResponse ←	10001	0	1	20001	90	10/24	
④	10001	1	90	10/24		OrderChange →							
⑤						OrderResponse ←	10001	1	2	20001	90	10/24	

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
5	Seller	変更	OrderResponse 交換後	Buyer が受注の変更内容を拒否

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	
Seller から Buyer へ、受注内容が変更になることをオフラインで連絡													
③						OrderResponse ←	10001	0	1	20001	90	10/26	

Buyer が OrderResponse の内容に同意できない場合は、Seller とオフラインで調整し、更なる注文変更か注文取消しを行う。

・注文変更を行う場合

④	10001	1	70	10/25		OrderChange →							
⑤						OrderResponse ←	10001	1	2	20001	70	10/25	

・注文取消しを行う場合

⑥	10001	1	100	10/24	Deleted	OrderChange →							
⑦						OrderResponse ←	10001	1	2	20001	100	10/24	Deleted

尚、Seller から Buyer へ受注内容が変更になることをオフラインで連絡しているため、上記③の OrderResponse に対して Buyer が変更内容を拒否することはないと思われるが、Seller と Buyer とでオフラインの連絡を行わず、全て EDI で情報交換を行う取引を実施した場合のために、④以降を記述した。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
6	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	
③	10001	1	120	10/26		OrderChange →							
④						OrderResponse ←	10001	1	1	20001	120	10/26	

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
7	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を拒否

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	
③	10001	1	120	10/26		OrderChange →							
④						OrderResponse ←	10001	1	1	20001	100	10/24	

④の OrderResponse で、Seller が注文の変更内容を拒否する場合は、Seller が認識している受注内容の OrderResponse を送信する。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
8	Seller	変更	OrderResponse 交換前	Buyer が受注の変更内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
Seller から Buyer へ、受注内容が変更になることをオフラインで連絡													
②						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	90	10/24	
③	10001	1	90	10/24		OrderChange →							
④						OrderResponse ←	10001	1	1	20001	90	10/24	

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
9	Buyer	変更	OrderResponse 交換前	Seller が注文の変更内容を承諾

	Buyer					メッセージ	Seller						
	注文番号	BSN	注文数量	納入日	ActionRequest		注文番号	BSN	SSN	受注番号	受注数量	納入日	LineStatus
①	10001	0	100	10/24		OrderCreate →							
②	10001	1	120	10/26		OrderChange →							
③						OrderResponse ←	10001	0	0	20001	100	10/24	
④						OrderResponse ←	10001	1	1	20001	120	10/26	

1.2 分納受注時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について

分納受注時の対応については、Chem eStandards 標準には例示されていないので、ここでは記載しない。

日本国内で推奨している項目の使い方については、UG 本文の「4.4 分納受注時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について」を参照されたい。

1.3 一注文複数明細運用時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について

一注文複数明細を運用した場合のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法を、下記の2つの観点からパターン分けして例示した。

- 1) 変更・削除の内容は何か
- 2) 相手の提示内容を承諾するか否か

尚、パターン分けは以下の通りで、変更・削除の主体は Buyer で変更・削除のタイミングは OrderResponse 交換後の場合を例示した。

また、以下で、BSN とは BuyerSequenceNumber、SSN とは SellerSequenceNumber、POLIN とは PurchaseOrderLineNumber のことである。

例示のパターン分け

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
1	————	なし	————	Seller が注文内容を承諾
2	————	なし	————	Seller が保留を経て注文内容を承諾
3	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を承諾
4	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を拒否
5	Buyer	削除	OrderResponse 交換後	Seller が注文の削除を承諾
6	Buyer	削除	OrderResponse 交換後	Seller が注文の削除を拒否
7	特殊ケース：一部の明細だけ削除された変更に対して Seller が変更内容を拒否			

各パターンのメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
1	————	なし	————	Seller が注文内容を承諾

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
2	————	なし	————	Seller が保留を経て注文内容を承諾

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456		30	10/25	Pending	
③									OrderResponse ←	10001	0	1	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		

②の OrderResponse で、回答を保留する明細の LineStatus には「Pending」を設定し、承諾する明細の LineStatus には何も設定せずに OrderResponse を送信する。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
3	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を承諾

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		
③	10001	1	1	10	A123	100	10/25		OrderChange →										
			2	20	B456	30	10/25												
④									OrderResponse ←	10001	1	1	1	10	A123	20001	100	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		

③の OrderChange で、変更しない明細（POLIN : 20）については送信しなくてもよい。この場合、Seller は、送信されて来ない明細については、元の注文内容で有効であるとみなす。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
4	Buyer	変更	OrderResponse 交換後	Seller が注文の変更内容を拒否

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		
③	10001	1	1	10	A123	100	10/25		OrderChange →										
			2	20	B456	30	10/25												
④									OrderResponse ←	10001	1	1	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		

③の OrderChange で、変更しない明細（POLIN : 20）については送信しなくてもよい。この場合、Seller は、送信されて来ない明細については、元の注文内容で有効であるとみなす。また、④の OrderResponse で、Seller が注文の変更内容を拒否する場合は、Seller が認識している受注内容の OrderResponse を送信する。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
5	Buyer	削除	OrderResponse 交換後	Seller が注文の削除を承諾

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		
③	10001	1	1	10	A123	70	10/25	Deleted	OrderChange →										
			2	20	B456	30	10/25	Deleted											
④									OrderResponse ←	10001	1	1	1	10	A123	20001	70	10/25	Deleted
												2	20	B456	20001	30	10/25	Deleted	

③の OrderChange で、注文を削除する場合は、全明細の ActionRequest に「Deleted」を設定する。（一部の明細だけに「Deleted」を設定することにより、注文全体を削除することを表すことはできない。）また、④の OrderResponse で、Seller が注文の削除を承諾する場合は、全明細の LineStatus に「Deleted」を設定する。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
6	Buyer	削除	OrderResponse 交換後	Seller が注文の削除を拒否

	Buyer								メッセージ	Seller									
	注文 番号	BS N	Line Number	PO LIN	品名	注文 数量	納入 日	Action Request		注文 番号	BS N	SS N	Line Number	PO LIN	品名	受注 番号	受注 数量	納入 日	Line Status
①	10001	0	1	10	A123	70	10/25		OrderCreate →										
			2	20	B456	30	10/25												
②									OrderResponse ←	10001	0	0	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		
③	10001	1	1	10	A123	70	10/25	Deleted	OrderChange →										
			2	20	B456	30	10/25	Deleted											
④									OrderResponse ←	10001	1	1	1	10	A123	20001	70	10/25	
												2	20	B456	20001	30	10/25		

③の OrderChange で、注文を削除する場合は、全明細の ActionRequest に「Deleted」を設定する。（一部の明細だけに「Deleted」を設定することにより、注文全体を削除することを表すことはできない。）また、④の OrderResponse で、Seller が注文の削除を拒否する場合は、全明細の LineStatus には何も設定せずに、Seller が認識している受注内容の OrderResponse を送信する。

No	変更・削除の主体	変更・削除の内容	変更・削除のタイミング	相手の提示内容を承諾するか否か
7	特殊ケース：一部の明細だけ削除された変更に対して Seller が変更内容を拒否			

一部の明細だけ削除された変更の対応については、Chem eStandards 標準には例示されていないので、ここでは記載しない。
日本国内で推奨している項目の使い方については、UG 本文の「4.5 一注文複数明細運用時のメッセージの交換ルールと各主要項目の使用方法について」の No7 を参照されたい。